



学校だより 8・9月号

令和8年8月27日

渡り鳥に学ぶ

副校長 田中 孝之

長い夏休みが終わり、学校に子どもたちの元気な声が戻ってきました。久しぶりに友だちと顔を合わせ、楽しそうに話す姿を見ていると、学校はやはり子どもたちがいてこそその場所だと改めて感じます。

この時期になると、空を見上げれば渡り鳥たちが季節の移り変わりとともに旅を始める姿を目にすることがあります。渡り鳥は、安全で過ごしやすい環境を求めて何百キロ、何千キロもの距離を仲間とともに飛び続けます。その旅は決して簡単なものではありませんが、目的地を目指して力を合わせながら進んでいきます。

子どもたちもまた、それぞれの目標に向かって歩む「旅の途中」にあります。夏休み中には新しいことに挑戦した人もいれば、自分の好きなことを深めた人、家族や地域との時間を大切にしたい人もいます。一人ひとりが様々な経験をしてきたことでしょう。その経験の一つひとつが、これからの成長を支える力となっていきます。

渡り鳥は長い旅の中で、ときには先頭を交代しながら飛ぶことが知られています。一羽だけで飛び続けるのではなく、仲間と支え合うことで遠くまで辿り着くのです。学校生活も同じです。友だちと励まし合い、協力し合いながら学ぶことで、一人では気付かなかったことを学び、大きく成長することができます。

今年度の児童会スローガンは「みんなで挑戦して笑顔あふれる『はとりん』な中丸小学校」です。鳥をモチーフとした「はとりん」は渡り鳥かどうかわかりませんが、仲間と支え合い、協力することでどこまでも羽ばたいていくことができます。そんな素敵な「はとりん」に向かって、夏休み明けからも子どもたちには様々な挑戦をしてほしいと願っています。

この時期は、すぐに大きな成果が見えなくても、一歩ずつ前に進むことが大切です。教職員一同、子どもたち一人ひとりが安心して挑戦し、自分らしく成長できるよう支えてまいります。

保護者・地域の皆様におかれましては、引き続き本校の教育活動へのご理解とご協力を賜りますようお願いいたします。

